

夏休みを利用して、これまで学習したことや、身の回りの自然や生活の中で、不思議に思ったことを研究してみましょう。(研究した作品を国頭地区児童生徒科学賞作品展に出品してみませんか。)

①研究すること(テーマ)を決める

○身近なことでもっと知りたいこと、
不思議に思ったことをテーマにする。

「どうして身近なことをテーマにするの？」

身近なことだと観察したり、実験したりすることで疑問が解決したり、新しい発見があります。身近なことでないインターネットや本で調べるだけの「調べ学習」になってしまいます。

〈過去の出品作品テーマ〉

1年生

- ・「てながえびのせいたい」「ありのけんきゅう」
- ・「10円ピカピカじっけん」「いとでんわのきこえかた」

2年生

- ・「ながくとぶ紙ひこうきをつくろう」・「ペットボトルでろかしてみよう」・「すなはまくらべ」
- ・「海のごみしらべ」「ことりをすばこによんでみよう」

3年生

- ・「〇〇〇にオキナワカブトはいるのかな?」「こおるものとおらないもの」「雲はどこからやってくるの?」・「氷のとけるはやさ」・「長持ちする花どーれだ?」「身の回りのものでハガキを作ろう」

4年生

- ・「かたまる?かたまらない?フルーツゼリーのひみつ」・「〇〇〇にはどんなクワガタがいるのかな?」
- ・「汚れた水をきれいにする方法」・「空気でつぼうはどこまでとぶの?」
- ・「ジュースにはいつている砂糖の量」「たまごのひみつ」「南の空に見える一番星のひみつ」

5年生

- ・「魚の骨は何本あるのかな?」「シリケンイモリの研究～カエルとのちがい～」・「漂着ゴミはどこからきたのかな?」「最強の雑草～チガヤの秘密～」・「飛行機はなぜ飛ぶの?」

6年生

- ・「きれいな海ってどんな海?」「姿をみせないヤンバルクイナは〇〇小学校の近くにいますか?」「水あげの速さを調べよう」・「りんごの変色のひみつ」

②予想・計画を立てる

- ・テーマについて、結果がどうなるのか予想してみましょう。

③調べたり、つくったりする(結果)

- ・計画をもとに、調べたりつくったりしてみよう。
- ・調べたことで新しい疑問が出てきたら、さらに調べてみよう。

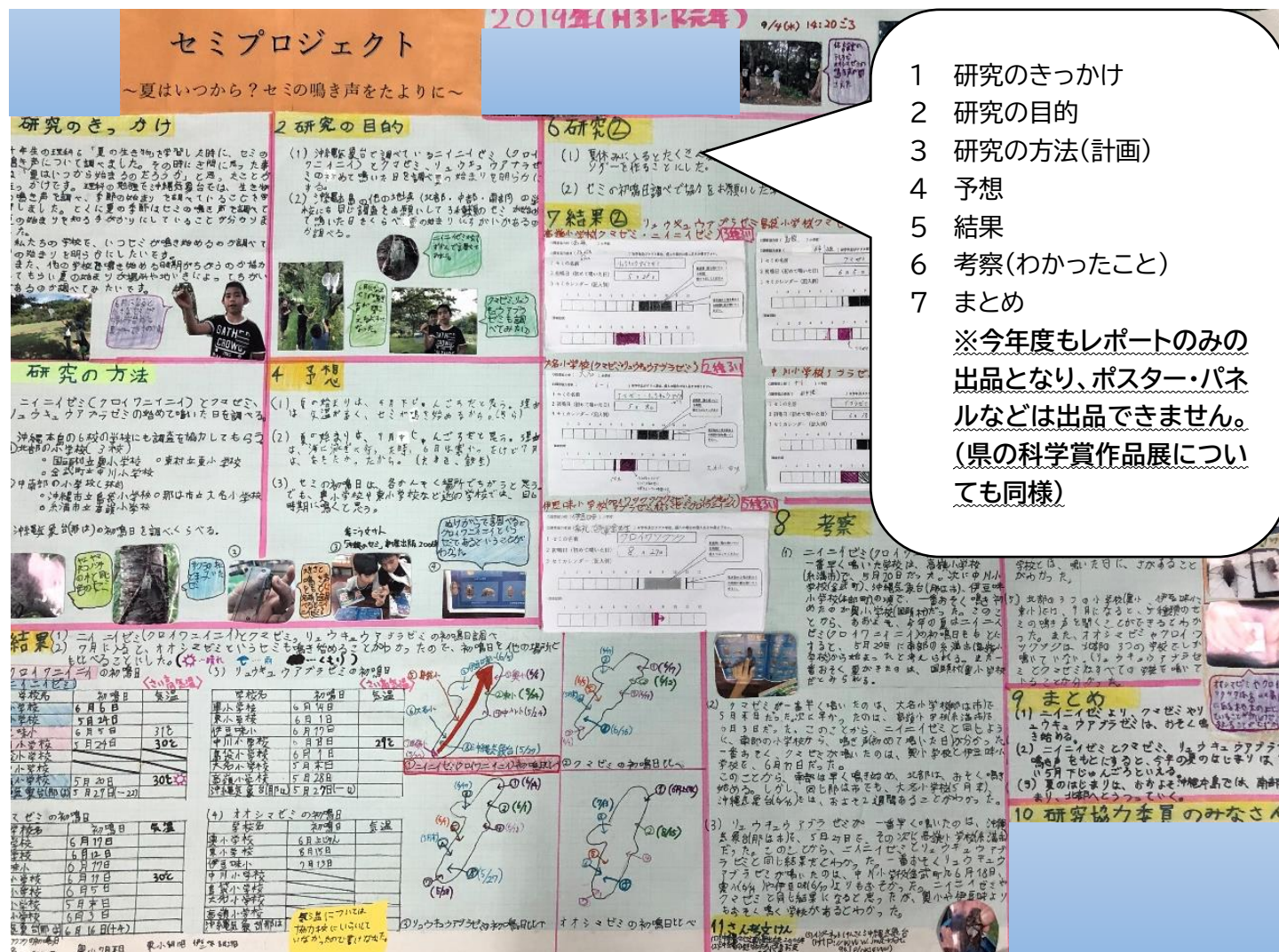
毎日観察を続けると、「どうして?」「なんでかな?」という新しい疑問が生まれてきます。この疑問を解き明かすことが深い研究、楽しい研究につながります。

④考察(わかったこと) ⑤まとめ ⑥課題・調べてみたいこと(疑問)

〈過去の入賞作品 国頭地区児童・生徒科学賞作品展 銀賞 小学校4年生の作品〉

※重ね重ねお伝えしますが、今年度も**ポスター・パネル形式は不可**です。

(見開きで記録の仕方を見通しやすいので、ここで参考例として掲載している次第です)



保護者の皆さんへ

お子さんが興味のあることや身近なことを一緒に研究してみませんか？親子で取り組むことで研究がより深く、楽しい研究となります。

○国頭地区児童・生徒科学賞作品展への出品についての留意事項

- ①出品する際は、上記の研究の進め方に沿った研究(インターネットで調べただけの作品は出品できません。できるだけ自分で取り組んでいる写真を添付するようにしましょう。)
- ②出品についてはレポート(ファイルやノート、スケッチブックなどを活用した形式。大きさの規定はありません)のみとなり、パネル、ポスターでの出品はできません。(標本・制作物・採取物がある場合は写真を撮り、レポートに添付するか、必要であれば動画を撮影しDVDとしてレポートに添付してください。(動画は1～2分程度))
- ③出品には1人100円の出品料がかかります。(共同研究の場合も1人100円)

《出品についての詳細(実施要項)は下記の国頭地区理科教育研究会ホームページを参照》

<https://sites.google.com/view/kunigamitikurikaken>